

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム けやき

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 9 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	職員の介護技術や意識に個人差があり、利用者と同じサービスを提供しても、受け取り方が違うので、勉強会を繰り返し、職員の介護技術を均一化し、利用者の満足に繋がる介護の実践に取り組む。	職員の介護経験や習熟度に合わせて、外部の研修会に派遣し、介護技術の習得と意識の高揚を図り、職員一人ひとりが質の高い介護サービスの実践に取り組んでいく。	12ヶ月
2	5	市町村との連携	毎月行政と情報交換を兼ねた地域福祉事業者連絡会に参加しているが、情報交換会に終わっているため、グループホームの今後の在り方等をテーマとして検討していく。	地域密着型事業所として、行政や地域包括支援センター、同業者と連携し、地域全体で認知症高齢者が、安心して暮らせるまちづくりを話し合い、行政と協力関係を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。